

## 郷土史への扉

## 石造の近代化遺産

市内には数多くの石造の文化財があります。二〇〇四年に刊行された「鹿児島県の近代化遺産」という本には、近代に造られたさまざまな文化財が掲載されています。中でも石で造られたものが数多く紹介されています。

やはり石は丈夫で長持ちするので、長い年月を経て現在まで使用されているものも少なくありません。しかし、近代化遺産は文字どおり機械などない時代に造られておりますので、当時の人々の苦勞を思うと先人に敬意を表さなければなりません。現在も使用できるという点から考えても大切にしなければという思いが湧いてきます。今年一月に九州電力妙見発電所の本館や関連する施設が国の登録有形文化財として登録されました。石造の施設で当時の技術をふんだんに盛り込んだ建物です。登録文化財は指定文化財とは異なり、文化財を活用しながら保

護・保存していくという制度です。現在、市内には9件の登録有形文化財があります。

さて、近代化に関するものは多岐にわたります。山ヶ野金山関連遺構はも

ちろんのこと、農業・商業の倉庫や鉄道の施設、石橋、コンクリート橋など数多くあります。今回は石造の近代化遺産の一部を紹介したいと思います。

横川町中ノに宮之城から横川・牧園を結ぶ旧街道（現県道）の天降川に架けられた一連アーチ橋があります。片白橋です。明治二十五（一八九二）年に架けられたといわれています。

隼人町野久美田の清水川に架かる一連アーチ橋があります。野久美田橋です。明治四年に架けられました。旧街道に架けられましたが、規模はあまり大きくありません。鹿児島と大隅、日向を結ぶ交通の要衝であったと考えられます。今は国道10号沿いにあります。牧園町三休堂の飯富神社前に架かっている石橋は宮之橋といって、明治七年に造られたようです。飯富神社の参道のために建設されたそうですから、昔から多くの参拝者がいたのでしょう。

今回は3件だけ紹介しましたが、このほかにも石橋はたくさんあります。石橋だけではなく、コンクリート橋も立派なものがあります。

霧島田口の神宮橋は昭和十三（一九三八）年に架けられました。構造は、寺社建築の組物などをコンクリートで表現し、デザインの優れた橋です。現在でもほぼ当時の姿をとどめています。隼人町と牧園町の境にある安楽橋は、昭和四年頃に架けられました。現在の国道223号に使われている橋ができる前に使用されていた橋なので、国道の交通を支えたとしても優れた橋です。

オープンアーチで洪水でも流されにくく、現在は旧道にあり自動車の通行も少ないため残せる橋の一つではないでしょうか。

鉄道関係の近代化遺産といえば、JR肥薩線の嘉例川駅舎と大隅横川駅舎を思い浮かべるのではないのでしょうか。しかし、駅舎の他にも暗渠や橋梁、隧道なども大切な遺産です。

肥薩線のトンネルでは羽根原・五月田・内道などがあります。いずれも切石とレンガ積みです。明治三十五年に造られました。

日豊本線のトンネルでは、岩戸・襲山・小鹿野・黒ヶ迫・大窪が昭和五年、狩川は昭和七年に造られました。隼人（財部間）は昭和二年から七年頃

敷設されました。しかし当時は昭和恐慌など不安定な国内の情勢であったため、これまでの石やレンガなどは使用せず、費用を安くおさえられるコンクリートで造られています。

文化財は江戸時代以前のものだけではなくありません。明治以降、日本の近代化に伴って建てられたものや造られたものが数多くあります。今回紹介したのはほんの一部です。すでに失われてしまったものもありますが、残っているものもたくさんあります。これから大切にしていきたいですね。

文責 坂

### 第1回市内史跡めぐり 「きりしま歴史散歩」参加者募集

- ・日時＝5月28日(土) 午前9時30分～12時(小雨決行)
  - ・集合場所＝大隅国分寺跡駐車場
  - ・受付時間＝午前9時～9時30分
  - ・対象者＝小学生以上
  - ・参加・資料費＝300円(当日持参ください。)
  - ・見学場所＝大隅国分寺跡・遠寿寺跡・舞鶴城跡・金剛寺跡・城山・搦手門など
  - ・申込方法＝直接または電話でお申し込みください。
  - ・申込期間＝5月9日(月)～27日(金)
- ◎☎☎＝文化振興課文化財グループ ☎(42) 1119